

●事業所内や自動車の取り組む行動に○をつけたら、代表的な行動を「減CO₂見える化チェックシート」(5ページ)の「活動計画」に記入しましょう。

■ 事業所内の取組みとその効果例

省エネルギー・省資源行動		CO ₂ 削減量等	取り組む行動に○
ステップ1	※1 空調	エアコンの冷暖房温度を適正温度(冷房28℃、暖房20℃)に設定する。	2.6kg/m ² ・年
		カーテン・ブラインドを利用して冷暖房効果を高める。	0.2kg/m ² ・年
	照明	昼休みの消灯に努める。	1.6kg/m ² ・年
	※2 O A 機器	昼休みにはコピー機の主電源を切る。<待機時消費電力180Wの製品の場合>	14.5kg/台・年
		昼休みにはプリンターの主電源を切る。<待機時消費電力65Wの製品の場合>	5.2kg/台・年
昼休みにはパソコンの主電源を切る。<待機時消費電力34W、モニター65Wの製品の場合>		8.0kg/台・年	
ステップ2	※2 O A 機器	17インチCRTモニタ	25.3kg/台・年
		20ppmレーザープリンター	20.0kg/台・年
		18ppmファクシミリ	46.6kg/台・年
		30cpmコピー機	73.2kg/台・年
		40ipm複合機	71.0kg/台・年
※3 冷蔵	コンビニエンスストアに、省エネルギー型冷蔵・冷凍機・空調一体システムを導入する。	20.8 t / 台・年	
	冷凍倉庫等では、エコ低温用自然冷媒冷凍装置を導入する。	63.2 t / 台・年	
ステップ3	※3, 4 新エネルギー等	20kWシステムの業務用太陽光発電設備を導入する。	5.4 t / 台・年
		天然ガスコージェネレーションシステムを導入する。	2.3 t / kW・年
		CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器を導入する。	11.4 t / 台・年

※1 省エネルギーセンターHP「ビルの省エネガイドブック」
 ※2 省エネルギーセンターHP「国際エネルギースタープログラム」
 ※3 環境省資料「京都議定書目標達成計画(旧版)」
 ※4 NEDO HP「新エネルギーガイドブック」



■ 自動車利用時の取組みとその効果例

エコドライブなど		CO ₂ 等削減効果	取り組む行動に○
ふんわりアクセル「eスタート」	普通の発進より少し緩やかに発進するだけで燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりした気分で運転しましょう。(最初の5秒を時速20キロ目安で走行)	CO ₂ 10%削減	
加減速の少ない運転	車間距離に余裕をもち速度にムラのない運転をすることが大切です。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。(加速や減速をくり返すなどムラがある走りかたをやめる)	市街地 CO ₂ 2%削減 郊外 CO ₂ 6%削減	
早めのアクセルオフ	停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る時にはエンジンブレーキを活用しましょう。	CO ₂ 2%削減	
エアコンの使用は控えめに	気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。(外気を取り入れできるだけエアコンをOFF状態にする)	CO ₂ 12%削減	
アイドリングストップ	待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐車の際にはアイドリングを止めましょう。(10分間アイドリングをやめる)	燃料 130cc削減	
暖機運転は適切に	現在販売されているガソリン乗用車においては暖機不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、全体の燃料消費量は増加します。(暖機運転をやめる)	CO ₂ 13%削減	
道路交通情報の活用	地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。(1時間のドライブで道に迷って10分余計に走行する場合と比較)	CO ₂ 14%削減	
タイヤの空気圧をこまめにチェック	タイヤの空気圧が適正値より不足した場合、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。(適正値より50kPa不足した場合と適正値を比較)	市街地 CO ₂ 2%削減 郊外 CO ₂ 4%削減	
不要な荷物は積まずに走行	車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車からおろしましょう。(不要な荷物をおろす)	CO ₂ 3%削減	
駐車場所に注意	交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。迷惑駐車はやめましょう。(交通渋滞がなくなり走行速度が時速20キロから時速40キロになると仮定)	CO ₂ 31%削減	

(財)省エネルギーセンターHP 「エコドライブ10のすすめ」のたねあかしより



げんこつ 減CO2見える化チェックシート

- これからの事業活動には、環境保全への取り組みを取り入れ地域環境や地球環境の保全に貢献する姿勢が求められます。
- この「減CO2見える化チェックシート」は、Plan（計画を立てる）、Do（行動する）、Check（結果を確認する）、Action（全体を評価し計画を見直す）から構成されており、この4つのサイクルを継続的に実施して、さらなる環境保全活動を進めていくためのシートです。
- これから地球温暖化防止の取り組みを開始し、次のステップとして、ISO14001やエコアクション21のような環境マネジメントシステムの導入を考えている「エコ事業所」のみなさまは、まずはこのシートを活用して是非取り組みを始めて下さい。

はじめに、CO ₂ （二酸化炭素）排出量等の削減について、削減目標と目標達成のための活動計画を決めましょう！						
Plan 計画を立てる	削減目標			活動計画		
	CO ₂ 排出量 (kg)	事業所内	前年度比	%削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		自動車	前年度比	%削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		事業所外(現場等)	前年度比	%削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	廃棄物排出量 (t) ※目標とするもの□に ✓印を入れてください	<input type="checkbox"/> 事業所内 <input type="checkbox"/> 事業所外(現場等)	前年度比	%削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
総排水量 (m ³)	事業所内	前年度比	%削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

決めた削減目標と活動計画を事業所全体で取り組み、毎月のエネルギー使用量、ごみ排出量等を記入しましょう！																					
Do 行動する	燃料等の使用	エネルギー量	事業所内	月												合計	CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 ^{※2} (kg)			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
※まずは、 <input type="checkbox"/> 枠内の記録を請求書等に基づきつけるようにしてください。			事業所内	電気(kWh)	前年度													×0.39			
					今年度																
				都市ガス(m ³)	前年度															×2.1	
					今年度																
				LPガス ^{※1} (m ³)	前年度															×6.5 ^{※1}	
					今年度																
				灯油(ℓ)	前年度															×2.5	
					今年度																
				重油(ℓ)	前年度															×2.7	
					今年度																
※1 LPガス消費量を重量(kg)で把握している場合のCO ₂ 排出係数は3.0kg-CO ₂ /kg																					
小計①																前年度					
																今年度					
自動車			自動車	ガソリン(ℓ)	前年度												×2.3				
					今年度																
				軽油(ℓ)	前年度														×2.6		
					今年度																
小計②																前年度					
																今年度					

